

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年11月 日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	32410
政策名(章)	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます	評価担当部	都市部
基本施策名(節名)	第4節 自動車・自転車駐車対策の推進	評価担当課	駐車場対策課
施策名	自動車駐車対策の推進	課長名	大貫 守

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

中心市街地や駅周辺地区における交通渋滞の原因となっている路上駐車解消を図るため、将来の駐車需要予測と民間との適正な分担のもと、公共自動車駐車場の整備を推進するほか、民間自動車駐車場の整備を促進する。  
 将来需要に対する駐車台数は着実に確保されつつあり、道路交通法の改正等や「違法駐車等の防止に関する条例」の施行により路上駐車は解消されつつあるが、さらに市では、路上駐車車両の市営自動車駐車場への誘導という役割を果たすため、料金改定(徴収単位の変更)及び時間延長など実施するとともに、場内案内板の設置や駐車場案内システムを導入するなど利便性の向上に努めていく。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		926,188	委託料(駐車場管理運営業務、料金精算機プログラム変更業務)の減少
人件費		26,726	
市民一人あたりの事業費	1,010	1,429	
合計	622,200	952,914	

\*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

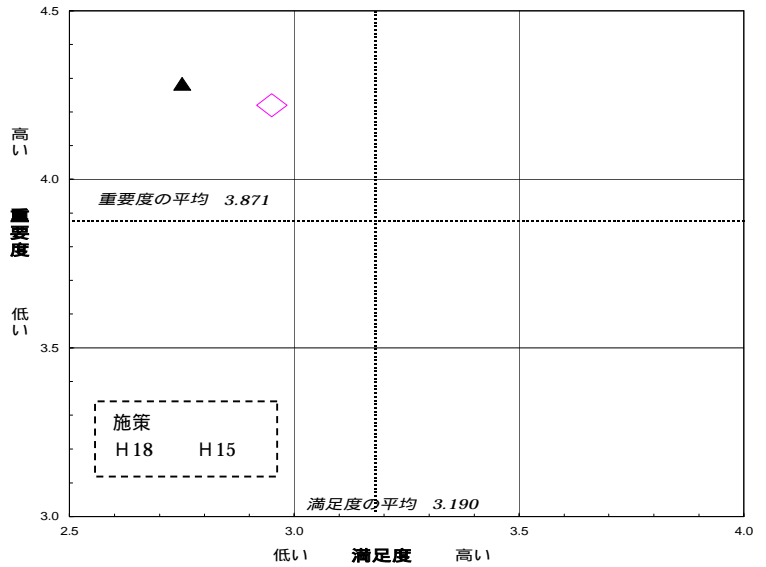
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	相模大野地区における駐車可能台数	相模大野地区駐車場整備計画策定時における同地区の駐車可能台数	2,830台	16
指標2	路上駐車台数(相模大野、相模原、橋本地区)	「違法駐車等防止条例」施行前の路上駐車台数(相模大野、相模原、橋本地区)	1,919台	11
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	2,950 / 2,830	19	3,190台	21	3,430台	相模大野地区駐車場整備計画で策定されている将来の駐車場整備目標量(4,720台)に到達するように設定。
達成率	95.9					
指標2	1,411 / 1,356	19	1,273台	21	1,149台	「違法駐車等防止条例」施行前の路上駐車台数を基準とし、1年間に5%ずつ路上駐車台数が減少していくよう設定。
達成率	96.1					
指標3						
達成率	#DIV/0!					
指標4						
達成率	#DIV/0!					
指標5						
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は2.950で51施策の中で51番目。  
 重要度は4.220で8番目である。  
 改善要望度は0.4164で1番目である。  
 年齢別にみると、満足度は60歳以上で高くなっている。  
 重要度は60歳代でもっとも高い。また、20歳代を除く年代では上位10施策に入っている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、20歳代で前回調査より上がっており、重要度の順位では、20歳代で下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	1次評価
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	路上駐車台数は、実績値が目標値を下回っているため目標どおりの成果をあげている一方で、駐車場の整備台数は、目標値に到達していないなど、指標によって成果がまちまちである。	B
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 1	新規事業に係る経費を除くと、事業費の投入コストは減少している。また、駐車場の整備台数は、目標値に到達していないものの、路上駐車台数の実績値は、目標値を下回る結果となっているなど、一定の成果をあげている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	市民満足度調査結果において、平均値と比較して満足度が低く重要度が高い、優先して改善を要する施策である。	
合計		6	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	「駐車場基本計画」等の将来需要予測に基づく公共及び民間駐車場の計画的な整備が必要である。併せて、利用率が低い駐車場周辺の路上駐車対策及び利用率向上のための対策が必要である。
解決策	公共駐車場の整備については、「駐車場基本計画」等の将来需要予測に基づき、各地区における再開発事業に合わせて整備するとともに、民間駐車場についても補助制度の活用などにより駐車場整備を促進する。また、路上駐車対策については、改善傾向にあるが、警察等関係機関との連携により引続き取締りを強化することにより、路上駐車車両を駐車場へ誘導し、安全で快適な交通環境の向上を図る。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標の目標値の水準が甘く、高評価となっている。また、他の中心市街地の駐車可能台数、既存駐車場の利用率などの指標の設定も必要である。 計画的な公共施設駐車場の整備以外にも、より一層の既存駐車場の利用率を高める事業や市民へのPRの強化等の事業展開を図るなど事業の見直しが必要と思われる。	2次評価 B
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



